

会計専門ゼミB		演習	教授 安藤 鋭也	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21300302	

1. テーマ

会計に関する諸問題の研究

2. ゼミのねらい・概要

前期に引き続き、会計に関する基礎知識(例えば「会計学基礎」「会計学総論」「簿記論」を履修済)を前提にして、「ビジネスの言語」としての会計を学びます。日商簿記検定試験に向けた学習も行います。異なる立場や考え方の皆さんが、それぞれの目的を意識して会計に接することは(特に卒業後の実社会において)有益だからです。ゼミでは、皆さんの希望を丁寧に聞きます。専門家(税理士、公認会計士、公認不正検査士、公認内部監査人)に関心があれば、それを含めて対応します。

3. ゼミ計画

概ね以下の通りです。皆さんの希望を出来るだけ取り入れます(主役は皆さんです)。相談しながら進めましょう。

1. 資本金計(1)	9. 連結財務諸表(1)
2. 資本金計(2)	10. 連結財務諸表(2)
3. 資本金計(3)	11. 企業結合と事業分離(1)
4. 損益会計(1)	12. 企業結合と事業分離(2)
5. 損益会計(2)	13. 財務諸表の分析(1)
6. 損益会計(3)	14. 財務諸表の分析(2)
7. 財務諸表の作成(1)	15. 後期のまとめ、卒業研究に向けて
8. 財務諸表の作成(2)	

4. 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

皆さんが関心を抱くテーマに関する知識習得・分析考察が欠かせません(週に1時間程度)。また学修内容の定着には復習が有効です(週に1時間程度)。復習の際に不明点や疑問点が生じれば、次回のゼミで遠慮なく質問して下さい。一緒に考えましょう。

5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

皆さんの進捗状況に応じて、良い点・不足している点・今後取り組むべき点などを個別にコメントします。コメントの通知方法は、事前にお知らせします。

6. ゼミにおける学修の到達目標

会計に関する諸問題の研究を通して基礎知識を修得し、卒業研究に向けた土台を構築することが目標です。

7. 成績評価の方法・基準

平常点60%(ゼミへの取組み姿勢)および研究テーマに関する報告内容40%で成績評価を行います。

8. テキスト・参考文献

皆さんのテーマや関心に沿った文献などを個別にご紹介します。

9. 受講上の留意事項

皆さんが将来、様々な分野の実務家として・専門家として、活躍するためのベースとなる会計の知識(会計リテラシー)を身につけてもらいたいと思います。主体的・積極的な参加を心から歓迎します。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当します。本授業は、商社(経理部門)における実務経験も活かして指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリ」欄の記載のとおりです。